

東光まちづくり推進協議会 会議録 令和7年度 第3回

会議概要	
日時	令和8年3月26日（木曜日）午後6時00分から午後7時30分まで
場所	東部住民センター 2階 大集会室
出席者	委員（15名、正副会長以外は50音順） 原田会長、玉田副会長、阿曾沼委員、五十嵐委員、兼松委員、齊藤委員 高橋委員、徳光委員、中島委員、中村委員、本間（健）委員、本間（雅）委員 牧野委員、松原委員、横山委員 （欠席 赤坂委員、中田委員、林委員、増子委員） オブザーバー 菊池 地域まるごと支援員 事務局 東部まちづくりセンター 原所長、武田主査、岡田 その他 防災課 村上主査 社会教育課 跡部
会議の公開・ 非公開	公開
傍聴者の数	0名
会議資料	次第
	資料1 地域まちづくり推進プログラム
	資料2 令和8年度東光地域活動計画（案）

議事の内容

1 開会

協議事項の検討の前に、防災課から「旭川市防災これ一冊まとまっぷ」の説明、社会教育課から、東光地域における地域学校協働活動の取組についての説明があった。

質問等は特になし。

2 協議事項

(1) 東光まちづくり推進プログラムについて

会長の進行に基づき、資料1について、事務局から概要及び地域の基本情報について修正の説明があり、その後次年度の改訂内容について各委員より報告があった。

【委員】

「ボッチャ体験会の実施」

毎月1回東部住民センターで実施しているボッチャ体験会については、地域まちづくり推進事業補助金を活用して、これまで東光(U・D)チクリンピック実行委員会が実施していたが、令和8年度から、東光地区市民委員会と東光地区社会福祉協議会の主催で行うことで体制が整った。住民センター近隣の方だけではなく、多くの方に参加してもらえればと思う。

【委員】

「市への要望・地域からの提案」

不登校児童生徒に対する受け皿の構築、中高生等のボランティア活動と地域活動との情報共有ができる仕組みの構築、この2つについて要望・提案を行っていた。

東光地域に関しては、不登校児童生徒に対する受け皿について、教室への入室が難しい生徒への対応を、空き教室を利用する形で東明中学校が行っていたが、4月からは予算措置され、専属の教員がつくことになった。これまで以上にきめ細かな対応ができるような体制が整ったのではないかと思う。

ボランティアについては、龍谷高校のインターアクトクラブの活動が活発。自分が行っている子どもの居場所事業にも一昨年からお手伝いいただいている。また、児童センターまつりにも参加してくれ、地域とのつながりもある。今後も続いていけばよいと思っている。

これらの理由から次年度はこの2つの要望を取り下げとしたい。

【会長】

市への要望について、回答が毎年同じ内容だと感じている。要望に対する行政側の具体が見えない。市への要望の在り方、要望の仕方も含めて今後検討が必要なのは。

他の委員から意見等はなし。

(2) 令和8年度東光地域活動計画(案)について

資料2について事務局より説明があり、3グループに分かれて協議を行った。その後、各グループから協議内容の発表があった。

グループ1（「シニアいきがい事業」（ちよだカフェ）についての協議内容は次のとおり。）

【委員】

令和8年度1回目は、コロナ後実施を控えていた、飲食を伴ったスタイルでの実施を予定。東光のパティスリーフーさんのイートインスペースを会場として、認知症当事者の方が参加していただける内容でと考えている。会場利用については承諾を得られており、6月実施予定。2回目は秋頃に、東光図書館で開催できればと思っている。どちらも今後の実行委員会で詳細を決めていく。

グループ2（「東光消防団活性化事業」「こども・みらい事業」についての協議内容は次のとおり。）

【委員】

東光消防団活性化事業については、アモールショッピングセンターで開催される「豊岡ふれあいまつり」に消防団ブースを設け、消防車の試乗や啓発品の配布などを通じて、消防団の存在を知ってもらふ活動を来年度も行いたいと考えている。今年は300名以上の方がブースを訪れてくれたこともあり、周知を図るという点においてはとても効果的だった。

こども・みらい事業については、学習支援よりも多世代交流、地域の中での子どもの居場所づくりをメインにしている。地域に定着してきており、今後も継続して続けていきたい。

子どものネットリテラシーに関する研修会も、引き続き行う予定。

グループ3（「チクリンピック事業」（ウォーキング・ボッチャ）についての協議内容は次のとおり。）

【委員】

チクリンピック事業については、ウォーキング、ボッチャ大会共に、次年度も継続して開催の予定。ウォーキングは、今年度龍谷高校陸上部の生徒さんが参加してくれ、大変評判が良かった。

事業の運営に関わり、事務局ありきではなく、実行委員会がさらに主体的に動けると、より地域に根付いたものになるのではという意見があった。

他の委員から質問等はなく、資料のとおり確認された。

3 その他

事務局からその他について説明があった。

1. 令和7年度東光まちづくり推進協議会謝礼について
2. 委員改選について

4 閉会